

2012年12月12日

名古屋港サービスステーションの増強について

住友大阪セメント株式会社（本社：東京都千代田区、社長：関根福一）は、名古屋港サービスステーション（SS）のセメントサイロ新設等の増強工事を実施し、12月1日より稼働を開始いたしましたのでお知らせいたします。

この増強工事は、名古屋港SSの貯蔵、出荷能力増強を目的に、2011年10月より開始し、2012年11月に完了いたしました。工事の主な内容は、セメントサイロの新設と荷役・出荷設備の増強などです。

これにより、従来普通セメントのみであった同SSの製品ラインナップを多品種化するとともに、積込と同時に計量を行うことができる直下式トラックスケールを設置し、効率的で利便性の高い出荷対応が可能となりました。加えて、場外貯蔵設備としての機能が強化されることで、当社の主力臨海工場である赤穂、高知工場の貯蔵能力を補完し、両工場の安定操業の維持にも寄与することとなります。

今後とも、当社では、ユーザー様への安定的なセメント供給のため、万全な生産輸送体制を構築してまいります。



(名古屋サービスステーション全景)



(新サイロ)

◇名古屋港サービスステーション概要 ※2012年12月1日より

所在地：名古屋市港区空見町33

サイロ基数：3基（従来2基）

セメント貯蔵能力：38,000トン（従来20,000トン）

取扱品目：普通セメント、特殊セメント（従来普通セメントのみ）

【本件に関する問い合わせ先】

総務部 IR 広報グループ TEL03-5211-4927 FAX03-3221-4652

以 上